

英国金融政策（2023年5月）

12会合連続の利上げで政策金利は2008年以来の高水準に

2023年5月12日

景気・物価見通しを大幅に上方修正、複数回の追加利上げも視野に

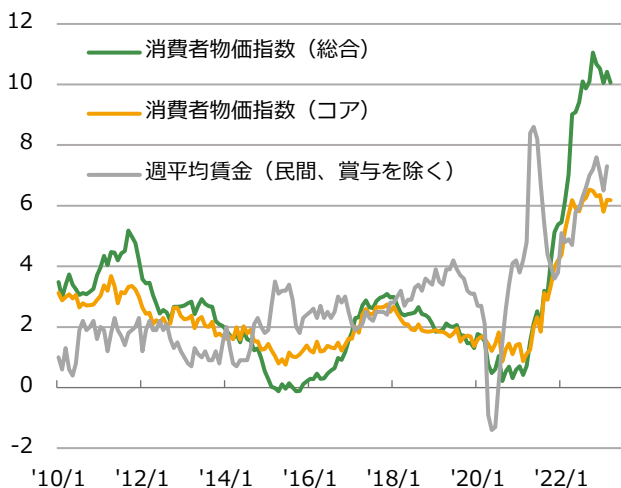
BOE（イングランド銀行）は5月10日（現地、以下同様）に終了した金融政策委員会で、市場予想通り政策金利を4.25%から4.5%へ引き上げることを決定し、11日に発表しました。2021年12月から12会合連続の利上げです。利上げ幅は前回3月と同じく0.25%ポイントで、票決も前回と同じく7対2で2名は据え置きを主張しました。結果的には、米国、ユーロ圏の利上げに追従した格好です。

BOEは四半期毎に公表の金融政策報告書で、景気、雇用、物価の見通しを大幅に上方修正しました。実質GDPは2023年1-3月期から前年同期比で7四半期連続のマイナス成長との前回の見通しを全てプラス成長に改め、失業率も2024年末まで直近の3.8%とほぼ変わらず4%を下回る低水準のまま推移するとの見通しです。世界経済の強まり、エネルギー価格の下落、財政面での支援等を理由として挙げています。消費者物価指数の見通しは2023年末を前年比3.9%から5.1%へ、2024年末を同1.4%から2.3%へ引き上げ、エネルギー価格の下落がインフレ率に反映されるまでに想定外に時間を要する可能性にも言及しています。

声明文では今後の金融政策の方針について、「より持続的なインフレ圧力の証拠があれば、追加利上げが必要になるであろう」と、3会合連続で同一の表現を用い、データ次第であることが示されました。ただ、利上げの累積的な効果の発現が遅れる可能性にも言及するなど、利上げ打ち止めを見据えたこれまでの姿勢から変化し、複数回の追加利上げも視野に入りました。

英国の消費者物価指数と週平均賃金

(前年同月比、%) (2010年1月～2023年3月)



※コアは食品・エネルギー・アルコール・タバコを除く系列
週平均賃金は2023年2月まで (出所) リフィニティブ

英国の金利と為替

(%) (2020年初～2023年5月11日) (米ドル/ポンド)



※政策金利は発表日ベース

(出所) ブルームバーク

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management